

令和8年度 町田市立鶴川中学校 年間指導計画及び観点別評価規準

第3 3 年 教科：音楽 教科書：教育芸術社2・3下 週時数：1 担当者：中島 沙織

学期	月	単元・章	時数	観点別評価規準				
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
1	4	ガイダンス 花 (歌唱実技試験)	4	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] ふさわしい表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を歌唱で表している。	[思] 旋律、形式、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。		
	5	箏「さくらさくら」	2	[知] 箏の音色や響きと奏法の関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で、演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表現している。	[思] 旋律、リズム、音色、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 箏の音色や響きと奏法の関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。		
	6	My Melody	3	[知] 音階の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や 組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 音階の特徴及び音のつながり方の特徴について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている		
	7	ブルタバ (モルダウ)	3	[知] 音楽の特徴や曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。	[態] 曲想と音楽の構造に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている		
			音楽祭課題曲 (歌唱)	2	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び局の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音身体の使い方の技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて歌唱する技能を身に付け歌唱で表している。	[思] 旋律、リズム、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
2	9	音楽祭課題曲 (歌唱実技試験)	7	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び局の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音身体の使い方の技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて歌唱する技能を身に付け歌唱で表している。	[思] 旋律、リズム、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌唱するかについて思いや意図をもっている	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。		
	10	音楽祭クラス自由曲						
	11	ボレロ (鑑賞)	3	[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している	[思] 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わっている。	[態] 曲想と音楽の構造に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている		
	12	アルトリコーダー (器楽実技試験)	4	[知] アルトリコーダーの音色や響きと奏法の関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で、演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表現している。	[思] 旋律、リズム、音色、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] アルトリコーダーの音色や響きと奏法の関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。		
3	1	能「敦盛」 ICT	3	[知] 曲想と音楽の構造、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、ほかの芸術・文化との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚・感受の関わりを考え、楽曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞することができる。	[態] 曲想と音楽の構造、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、ほかの芸術・文化との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
	2	心の通う合唱	2	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音身体の使い方の技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて歌唱する技能を身に付け歌唱で表している。	[思] 音色、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。		
	3							
評定 $【300(3 \text{ 観点の合計}) \div 3 = 100\%】$				知 (100%)	思 (100%)	主 (100%)		
定期考査				(50%程度)	定期考査	(50%程度)	授業内の活動	(100%)

評価方法	授業内の活動 (50%程度) <ul style="list-style-type: none">・授業観察・実技テスト	授業内の活動 (50%程度) <ul style="list-style-type: none">・ワークシート記述・授業観察	授業観察 <ul style="list-style-type: none">・ワークシート (鑑賞) (表現)・実技テスト (態度)・音楽のワーク (提出物)
------	--	---	--